



与謝野町

平成 2 7 年度当初予算（案）の概要

みんなの知恵と技術で、新しい価値を生むまちづくりの推進



目次 / index

- はじめに
- 27年度について
- 27年度予算全体像
- 主な歳入・歳出
- 27年度予算のポイント
- 27年度主要施策（6つの政策）
- 資料編
 - 町税の状況
 - 町債の状況
 - 基金の状況
 - 基金の活用
 - 普通建設事業の状況

27年度予算編成にあたって

町が毎年作成している予算書は、地方自治法に定められた体系に沿ってつくられていますが、「事業名」と「金額」しか書かれていません。また難しい行政用語が多く、町民の皆さんから分かりにくいとお声をいただいていた。そこで、その年の予算の使い道や事業などをできるだけ分かりやすくまとめた予算事業説明書として一冊にまとめました。町の施策の基本である「平成27年度予算編成」の体系に合わせて構成し、平成27年度に実施する個々の事業について説明をしています。



はじめに

今こそ新しい与謝野町を築く。

Groove する年に。

私が第二代与謝野町長に就任し、すでに一年が経とうとしています。また、町政の舵取りを担ってから、初めての当初予算です。

昨年の町長選挙において、町民の皆さんは、当時 32 歳という若者に町政を託されました。これは、町民の皆さんが持つ「新しい与謝野町の時代を築いていこう」という勇気、チャレンジ精神のあらわれであり、変化する社会情勢にあわせ、町とともに行動していこうという意思の反映であったと認識しております。

長年にわたり叫ばれ続けてきた地場産業の衰退、地域から子どもの声が聞こえなくなりつつあることへの不安、旧三町間の一体感の不足など、「与謝野町をなんとかしてくれないと困る」という町民の声が、先の選挙の結果を導き出しました。その一人ひとりの強い意志と熱い期待に応えるべく、私たちは「今こそ新しい与謝野町を築く」という意気込みで、様々な可能性を模索し、町政運営に励んでまいりました。

私は町の街頭や路地裏、田畑や川べり、事業所や集会で、町民の皆さんから直接聞いた声を忘れません。キラキラと輝く町民の皆さんの顔を忘れません。町民一人ひとりの願いをかみしめ、その実現に向けて全力で取り組んでいきます。

平成 27 年度予算はそのための一歩です。選挙戦を通じて訴えてきた 6 つの政策に重点を置いています。なかでも、最重要課題として捉えている 2 つの柱、すなわち、攻める産業振興政策への転換、多様性を重視した教育政策の実現に向けた予算です。町民の皆さんと協力し、成果を共有しあえる、ともに喜びあえる予算執行に務めていきます。

町民の皆さん、私は信じています。新しい与謝野町を築くことができると。

町民の皆さん、私は信じています。知恵と技術で、新しい価値を生み出すことができると。

町民の皆さん、ともに新しいうねりを生み出す年にしようではありませんか。

与謝野町長

山添藤真



27年度について

TAKE ACTION

27'

GROOVE する年に。

平成26年度は、
持続可能なまちづくりを進める為に、可能性を模索した年。

平成27年度は、
それらの可能性をつなぎ合わせ、躍動する年、うねりを生み出す年。

● Groove（グルーヴ）：楽しむ、愉快、躍動、うねりの意

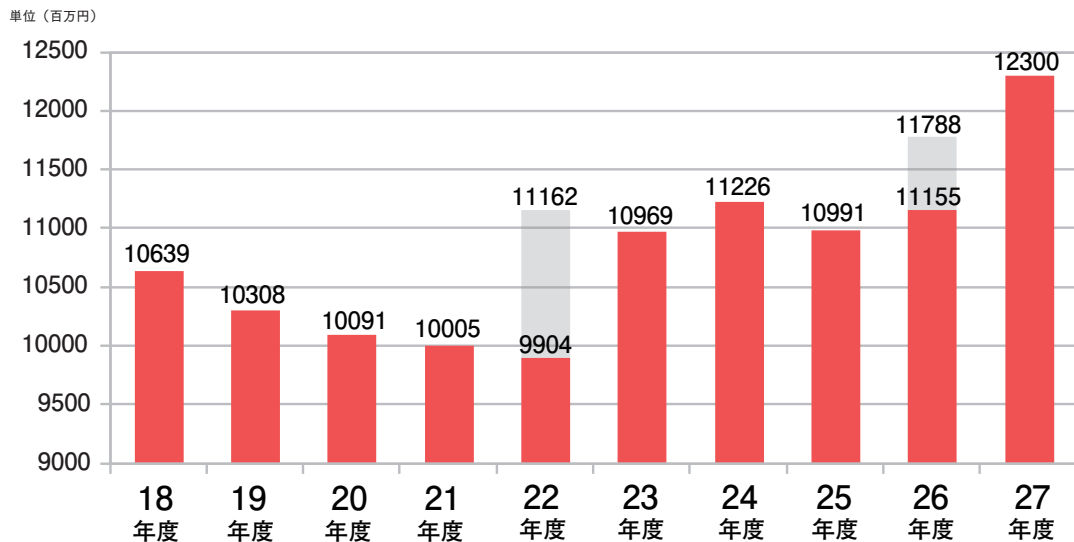


平成27年度予算の全体像

》 予算規模（一般会計）

一般会計予算 123億円

対前年度：10.3%増（6月補正後比較：4.4%増） **合併後最大の当初予算規模**



※22・26年度は骨格予算と6月補正後予算額を掲載

》 予算規模（特別会計・水道事業会計含む）

予算総額 212億2,858万円

[一般会計＋特別会計（9会計）＋水道事業会計]

対前年度：6.8%増（6月補正後比較：3.4%増） **合併後最大の当初予算総額**

単位（万円）

会計別	27年度当初	26年度当初	増減率（%）
簡易水道特別会計	65,400	76,320	△14.3
宅地造成事業特別会計	10,961	11,494	△4.6
下水道特別会計	164,980	173,860	△5.1
農業集落排水特別会計	3,920	4,160	△5.8
介護保険特別会計	270,150	256,639	5.3
土地取得特別会計	36	35	0.9
国民健康保険特別会計	317,850	288,333	10.2
後期高齢者医療特別会計	27,990	27,723	1.0
財産区特別会計	8,330	8,488	△1.9
水道事業会計	23,241	25,788	△9.9

会計の別		平成 2 7 年度	平成 2 6 年度	増減率
一般会計		123 億円	111 億 5,500 万円	10.3%
特別会計	簡易水道特別会計	6 億 5,400 万円	7 億 6,320 万円	△14.3%
	宅地造成事業特別会計	1 億 961 万円	1 億 1,494 万円	△4.6%
	下水道特別会計	16 億 4,980 万円	17 億 3,860 万円	△5.1%
	農業集落排水特別会計	3,920 万円	4,160 万円	△5.8%
	介護保険特別会計	27 億 150 万円	25 億 6,639 万円	5.3%
	土地取得特別会計	36 万円	35 万円	0.9%
	国民健康保険特別会計	31 億 7,850 万円	28 億 8,333 万円	10.2%
	後期高齢者医療特別会計	2 億 7,990 万円	2 億 7,723 万円	1.0%
	財産区特別会計	8,330 万円	8,488 万円	△1.9%
企業会計	水道事業会計	2 億 3,241 万円	2 億 5,788 万円	△9.9%
総額		212 億 2,858 万円	198 億 8,340 万円	6.8%

※増減率は千円単位で計算してあります。



一般会計とは

皆さんに納めていただいた町税や国から配分される地方交付などによって、福祉や教育、議会などといった基本的行政の仕事を行う会計区分です。



特別会計とは

国民健康保険や介護保険、下水道など、特定の収入によって、一般会計と切り離して事業を行う予算の区分です。与謝野町では、簡易水道、宅地造成事業、下水道、農業集落排水、介護保険、土地取得、国民健康保険、後期高齢者医療、財産区の9つの事業を特別会計で行っています。



企業会計とは

独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う予算の区分です。与謝野町では水道事業を企業会計で行っています。



主な歳入・歳出

≫ 歳入（一般会計）

単位（万円）

収入科目	H27当初 予算額	概要	H26当初 差額	6月補正後 差額
地方消費税交付金	38,350	消費税増税(5%→8%)の影響による。	11,825	11,825
地方交付税	530,000	特別交付税を10,000万円増額。	10,000	10,000
町債	171,810	加悦中学校改築工事などの増額に伴う増。	42,260	22,930

≫ 歳出（一般会計）

単位（万円）

事業名	H27当初 予算額	概要	H26当初 差額	6月補正後 差額
中学校施設整備事業	103,612	加悦中学校改築工事（工事費：100,422、監理委託：1,879）、備品購入費の増。	43,586	43,586
河川改修事業	10,000	浸水対策（石川地区鞭谷川バイパス水路）、堂谷樋門更新の増。	8,570	5,550
町営住宅維持管理事業	8,161	天神山団地エレベータ新設工事（岩滝）の増。	7,295	5,945
障害福祉サービス事業	62,776	就労訓練、障害児の療育関係の利用者増による。	5,248	5,248
認定こども園施設整備事業	4,943	岩滝認定こども園（仮称）基本・実施設計費の増。	4,943	4,943
屋外体育施設管理運営事業	4,781	城山公園テニスコート改修工事費の増。	3,866	3,866
人件費	178,322	人事院勧告の影響及び職員1名増	2,552	2,552



歳入と歳出とは

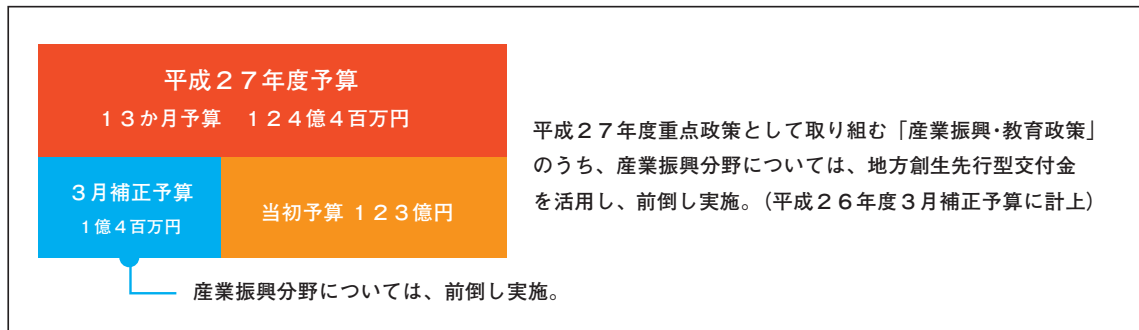
一般会計年度における国または地方公共団体の一切の収入を歳入といい、一切の支出を歳出という。



平成27年度予算のポイント

≫ 26年度補正予算と一体の「13か月予算」

平成27年度予算は、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に伴う、平成26年度3月補正予算と一体の「13か月予算」。切れ目のない経済対策等を実施します。



≫ 27年度主要政策（6つの政策）

27年度予算も、引き続き「6つの政策」を重点に実施。(➤: その中でも重点を置く項目)

	総事業費
➤ ① 新しい視点での産業振興策	120,106 千円
② 観光振興、交流人口の促進	45,597 千円
③ 地域密着型の福祉政策	19,927 千円
➤ ④ 新たな視点での子ども子育て支援策	392 千円
➤ ⑤ 未来を見据えた教育施策	52,391 千円
⑥ 徹底した情報の透明化、誰でも参画できる町政の実現	6,006 千円



なぜこの6つを重要政策とするのか。

今、日本の多くの地域でみられるように、与謝野町においても、少子・高齢化や基幹産業である織物や農業の産業人口の減少が進んでいます。充実した子育て支援、多様性を重視した教育、安定した福祉、攻める織物や農業への転換、生活基盤の整備により、町民の皆さんにとって魅力あるまちづくりを進めていきます。そして、その魅力と人の温かさといった地域の豊かさを、まちに関心を寄せる若い世代との交流を通じて、国内外に情報発信することで、人口の維持を図り、まちづくりに取り組んでいきたいと考えています。



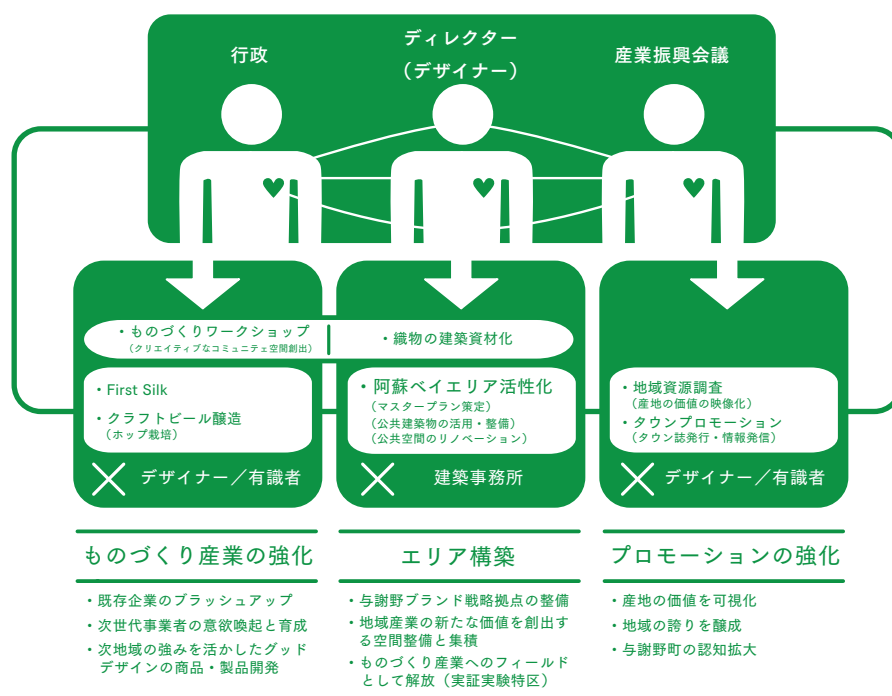
平成27年度主要政策

➤ ① 新しい視点での産業振興策

攻める産業振興政策へ転換することで、町内企業者のチャレンジを強力に支援し、ものづくりとクリエイティビティを基軸とした地域ブランド構想を展開する年にします。

与謝野ブランド戦略マネジメント

- ・地域ブランド戦略コンセプト・将来ビジョンの立案と展開方法の確立
- ・デザインマネジメントによる一貫性のある施策・プロジェクト展開
- ・地域課題を経済活動として解決



与謝野ブランド戦略事業

24,049千円

単位 (千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	◆「ものづくり × クリエイティビティ」を機軸にした地域ブランド構想を戦略的に展開することで、産業分野における新たな価値を創出し、魅力あるまちづくりを進める。 ◆与謝野ブランド戦略による一貫通貫したプロジェクト、産業政策を展開するため、行政、産業振興会議に加え、クリエイティブディレクターを招聘し、マネジメント体制を構築する。 ◆施策展開は、3本の柱を軸に、下記プロジェクトを展開する。 「ものづくり産業の強化」 - ー 織物業：「first silk」ブランドの構築、織物の建築資材化 - ー 農業：クラフトビール醸造に向けたホップ栽培※ - ー 全般：ものづくりワークショップ開催 ※ホップ栽培予算については、別途「与謝野町クラフトビール醸造事業」に計上 「プロモーションの強化」 - 地域資源調査：産地の価値の映像化 - タウンプロモーション：上記調査をもとにプロモーション展開 「エリア構築」 - 阿蘇ベイエリア活性化に向けたマスタープランの策定 ◆与謝野ブランド戦略シンポジウムの開催	19,960	4,089	商工観光課

与謝野クラフトビール醸造事業

23,904千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	与謝野ブランド戦略の「ものづくり産業の強化」の1プロジェクトとして、京の豆っこ米、大豆、京野菜に加えて、新たな与謝野産農業ブランドの確立のため、町内でのクラフトビール醸造を見据えたホップの試験栽培を実施。	8,904	15,000	農林課

与謝野ICT農業実践事業

4,380千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	e-案山子によるハウス野菜の栽培アプリケーション共同開発、ハウス野菜やホップ栽培等にSOFIXの試験導入、水稻ではSOFIX栽培こよみ(暫定版)による実践導入を図るなど与謝野町の新しい農業モデルの構築を図る。	4,380	0	農林課

織物振興対策事業(生産基盤支援・織機調整等支援)

9,899千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規 拡充	伝統産業である織物業の施設整備及び維持補修の経費負担に対して助成制度を新設・拡充し、生産能力の向上、新たな商品開発の機運を高め、織物業界の生産低下や後継者不足への対策を図る。	0	9,899	商工観光課

与謝野町産業振興施策(補助制度)

4,874千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充 新規	創業支援に係る業種緩和やグローバルな海外取引への支援を行うため販路開拓の海外販路枠を設定し、さらに補助対象枠の拡大及び補助上限額の引き上げをして、中小企業者が挑戦できる環境づくりを図る。また、新商品・新技術などのアイデアが実現できるような助成を広く企画提案型として公募する補助金を新設する。 ○創業等支援事業(拡充) ○販路開拓支援事業(拡充) ○アイデア実現支援事業(新規)	0	4,874	商工観光課

消費刺激・生活支援事業

53,000千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	町内消費者の生活支援及び地元での消費拡大を図るため、プレミアム率20%(予定)の振興券事業を行い、域内の商品だけにとどまらず住宅改修などにも使用できる振興券とし相乗効果を高める。	53,000	0	商工観光課

与謝野町企業誘致条例の一部改正

0千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	与謝野町企業誘致条例について、今後の企業立地を積極的に推進するため、条例の名称及び奨励措置等を一部見直し、条例の目的である産業振興と雇用の拡大を積極的に図る。 ○奨励事業所指定の要件緩和 ○指定申請手続の簡素化 ○奨励措置の追加及び奨励金等の交付額の充実 ・奨励金(現行どおり:固定資産相当額、5年以内) ・助成金(新規:投下固定資産取得費の5%以内の額。上限2,000万円。操業年度のみ) ・利子補助金(充実:長期借入金に対し年利率1%以内の額。1年度当たり100万円→200万円に)	0	0	商工観光課

➤ ② 観光振興、交流人口の促進

海の京都構想や滝のツバキエリア活性化事業などの取り組みを通じて、地域の魅力を再発見し、交流人口や定住人口の増加を図る年にします。

定住支援事業

1, 534千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	与謝野町への移住・定住を促進するため体制整備を検討するほか、空き家の活用・再生を促進するための空き家実態調査を実施。	1,534	0	企画財政課

海の京都・美心与謝野事業

17, 364千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続 新規	「海の京都・与謝野町マスタープラン」に掲げる戦略を推進するほか、京都縦貫自動車道全線開通をターゲットとする取り組みである「海の京都博」開催に関連して関係機関との連携し、事業を実施する。 ○観光PR看板整備事業 ○海の京都観光推進協議会負担金 ○海の京都博事業負担金 ○海の京都観光地域づくり支援事業負担金 ○海の京都回遊システム構築実験事業負担金 ○五感で感じるサイクル事業負担金 ○加悦地区公民館トイレ改修工事費負担金 ○海の京都・おもてなし環境事業補助金	0	17,364	商工観光課

観光地域づくり組織支援事業

11, 216千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	海の京都構想に基づく観光地域づくりの推進には、観光協会が地域を牽引しまちづくり観光の取り組みを実施していくことが不可欠であるため、観光協会の組織強化を図る。 ○観光地域づくり組織マネジメント支援事業 ○地域おこし協力隊員の活用	7,324	3,892	商工観光課 企画財政課

滝のツバキエリア活性化事業

8, 591千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	全国椿サミット与謝野大会(平成28年4月開催)の開催に向けた準備と「滝のツバキ」の資源を活用した地域づくりに伴い、エリアコンセプトを作り、地域の魅力の掘り起こしを行うとともに、滝地域の滞在交流エリアとして構築を図る。 ○全国椿サミット実行委員会補助金 ○滝のツバキエリア活性化事業費補助金 ○地域おこし協力隊員の活用	0	8,591	商工観光課 農林課 企画財政課

道の駅リニューアル事業

6, 892千円 単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	道の駅を地域拠点に位置づけ、地域住民や農業生産法人、周辺施設等と連携することで、エリア一帯を「滞在交流エリア」として再構築し、この取り組みを通じて道の駅自身の収益構造改善も行う。 ○地域再構築検討委員会(仮称)の運営 ○道の駅リニューアルに向けたプラン作成 ○地域資源を活用した地域オリジナル商品開発 ○滞在交流型サービス(体験プログラム等)の企画 ○地域おこし協力隊員の活用	0	6,892	商工観光課 農林課 企画財政課

③ 地域密着型の福祉政策

積極的な人材育成支援策を講じることにより、多様化する福祉需要や地域の課題に応え、住民相互の信頼と支え合いによる福祉社会の実現のための新たな指針を定める年にします。

地域福祉計画策定事業

2, 520千円

単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	地域の課題や福祉ニーズに応え、地域や家族が本来持っていた自助・共助の役割分担により、住民参加の地域福祉体制の構築をめざし、住民相互の信頼と支え合いによる地域福祉社会実現の指針となる新たな計画策定を実施。 （27・28年度の2か年事業）	0	2,520	福祉課

介護職員初任者研修事業

1, 000千円

単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	町内福祉事業所では、介護職等の人材不足が深刻化しているため、介護職員初任者研修を受講され、町内福祉事業所に就労された方については、受講費用の助成（2/3）を実施。	0	1,000	福祉課

喀痰吸引等研修事業

600千円

単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	町内福祉事業所に勤務する介護職員が看護師に代わって痰の吸引等の医療的処置が行えるよう研修に参加した場合の研修費用の助成（1/2）を実施。	0	600	福祉課

地域医療確保奨学金貸付事業

7, 609千円

単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	京都府立医科大学附属北部医療センターにおいて、将来「助産師または看護師」として勤務希望する看護学生を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で創設。年額100万円を上限とし貸与（返還免除規定有り）	0	7,609	保健課

介護予防地域交流活性化事業（介護保険特別会計）

1, 080千円

単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	高齢者の介護予防に仕事（手仕事・内職）という観点を取り入れたサロンを、地域の空き民家等を利用して運営するボランティア（団体）やNPO法人等に対して、家賃、光熱水費等の助成を実施。	0	1,080	福祉課

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

家賃等助成金制度（介護保険特別会計）

7, 118千円

単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	同じ入所型施設でありながら特別養護老人ホームに比べて利用者負担が高くなっている認知症対応型生活介護（グループホーム）に家賃、食費に対する助成制度を京都府北部地域で初めて導入。	0	7,118	福祉課

➤ ④ 新たな視点での子ども子育て支援策

子ども一人ひとりに寄り添う伴走型の子育て支援体制を確立します。保育料等の負担軽減策やお母さんたちの再就職・起業支援を通じて、多様な子育てのあり方を提案する年にします。

保育料・幼稚園使用料の負担軽減対策

第3子以降無料化も含めての減収見込み（6月補正後） △36,778千円 単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	少子化・子育て支援の一環として、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保育料、幼稚園使用料の見直しを実施。 新制度により利用者負担額の基準が変更となるが、すべての利用者が負担増とならないよう利用料を設定、また第3子以降の保育料の無料化を拡大。	0	△11,430 ※減免申請分 含まず	福祉課 教育推進課

放課後学習支援事業

392千円 単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	子どもたちを取り巻く社会環境や家庭環境、教育環境は厳しい状況となっており、学校の放課後を活用した学習への支援・サポートを実施（小学校2校程度をモデル校指定）	0	392	教育推進課

子育て応援課の新設（機構改革事業）

0千円 単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	子育てに関する施策を福祉課、保健課、教育委員会それぞれにおいて取り組んでいたが、子育てに特化した「子育て応援課」を設置することにより、子育て支援の連携を強化するとともに、施策の推進を図る。	0	0	福祉課 教育推進課 保健課

➤ ⑤ 未来を見据えた教育施策

住民・企業・行政が連携するオープンな知識創造の場を作り、新しい知識を身につけ、新しいチャレンジができる環境を整える年にします。

認定こども園施設整備事業

49,431千円 単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	岩滝幼稚園と岩滝保育所の統合による岩滝認定こども園（仮称）の整備に係る事前調査を26年度に実施。27年は引き続き基本設計・実施設計などを実施。	0	49,431	教育推進課

リベラルアーツ推進事業

1,200千円 単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	大学等と連携し、大学で実施している一般教養科目（リベラルアーツ）に準じる内容の講座をプログラム化し開催。明日の与謝野町を担う人材の育成を実施。	0	1,200	教育推進課

アベリスツイス交流事業

1,760千円 単位（千円）

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	アベリスツイスとの高校生相互派遣交流に加え、新たにアベリスツイス大学と産学連携（Academic collaboration）と文化協力（Cultural co-operation）を促進することとし、同大学への留学、短期英語研修の道を開くとともに、同大学が学術研究・産業、文化協力の可能性について、探究するための受け入れ事業を実施。	0	1,760	企画財政課

⑥ 徹底した情報の透明化、誰でも参画できる町政の実現

与謝野町に想いを寄せる人たちとの対話を続け、より多くの方々に町政への参画を呼びかける年にします。

合併10周年記念事業

5,624千円

単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	平成28年3月1日に合併10周年を迎える。新町10年間の歩みを振り返り、町民の新たな一体感の醸成と、新たな与謝野町の姿を描くため、「与謝野町合併10周年記念事業」を開催。 ・記念式典 ・町制要覧の作成 ・NHK公開番組「上方演芸」(予定)	0	5,624	企画財政課 総務課

広聴事業(町政懇談会・高校生との対話授業)

0千円

単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	合併当初からの取り組みである町政懇談会・高校生との対話授業を今年度も継続して実施。 町政懇談会では、住民の皆さんから多くの意見をお聞きし、まちづくりを進めるための基礎とし、また、対話授業では、将来を担う高校生の斬新な考えやまちづくりに対する思いを、町政運営に生かすことを目的に実施。(加悦谷高等学校、宮津高等学校)	0	0	企画財政課

CATVセンター(機構改革事業)

0千円

単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	行政情報の迅速かつ的確な情報発信が求められる今、運営体制を兼務体制から単独・専門部署として「CATVセンター」を設置。 より開かれた行政運営となるよう情報発信力の充実を図る。	0	0	加悦地域振興課

ふるさと納税事業

382千円

単位(千円)

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続 拡充	ふるさと納税制度の寄付金を単年度事業にとどまらず、中期的に実施し効果が得られる事業に活用できるように「与謝野町ふるさと応援基金」を創設。活用用途の拡充を実施。 (地域活動事業への寄付金など)	0	382	企画財政課

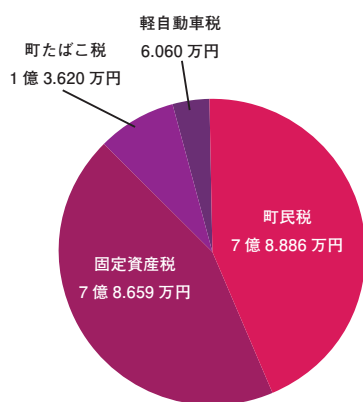


資料編

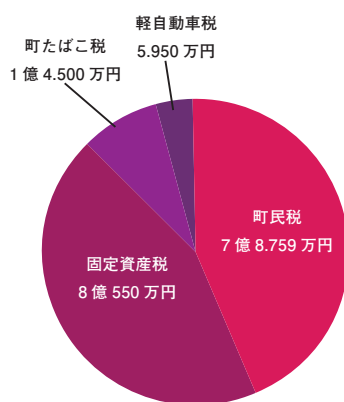
町税の状況

町税総額 17億7,226万円

対前年度：2,534万円減（△1.4%）



27年度予算

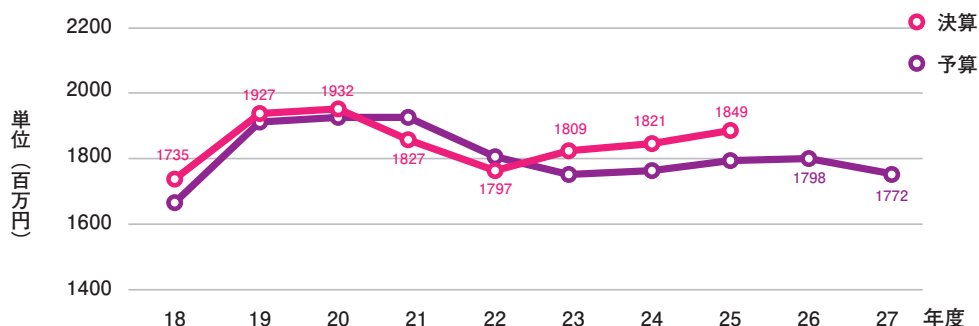


26年度予算

前年比 / 増減率 (%)

町民税	0.2
固定資産税	△2.3
軽自動車税	1.8
町たばこ税	△6.1

町税決算（予算）推移



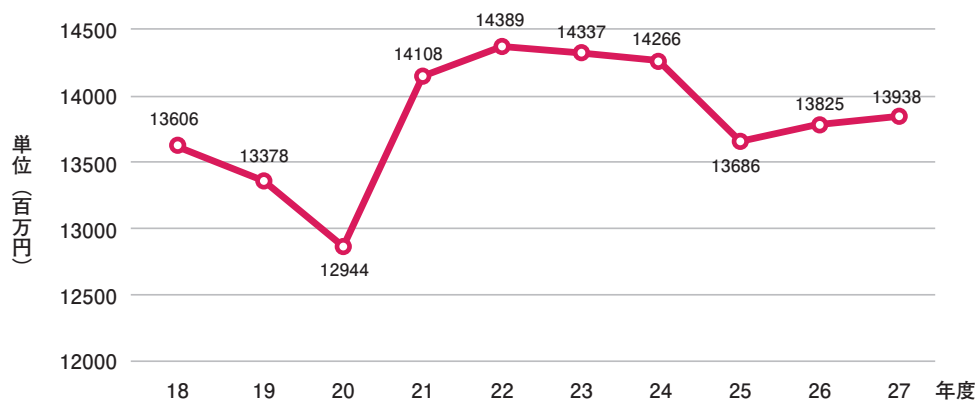
町債の状況

平成27年度末町債現在高見込み 139億3,754万円

対前年度：1億1,288万円増（0.8%）

【一般会計】

町債残高推移 26年度から加悦中学校改築工事の着工に伴い上昇傾向



基金の状況

平成26年度末基金現在高見込み

財政調整基金：14億1,000万円

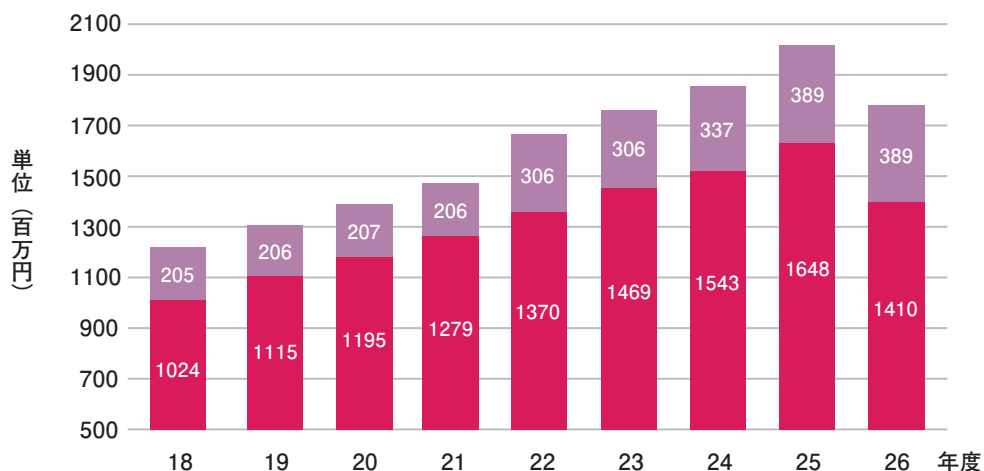
(対前年度：2億3,819万円減(△14.5%))

減債基金：3億8,900万円

(対前年度：13万円増(0.0%))

【財政調整基金・減債基金】

27年2月末時点では、3億4,300万円を財政調整基金から取り崩している状況



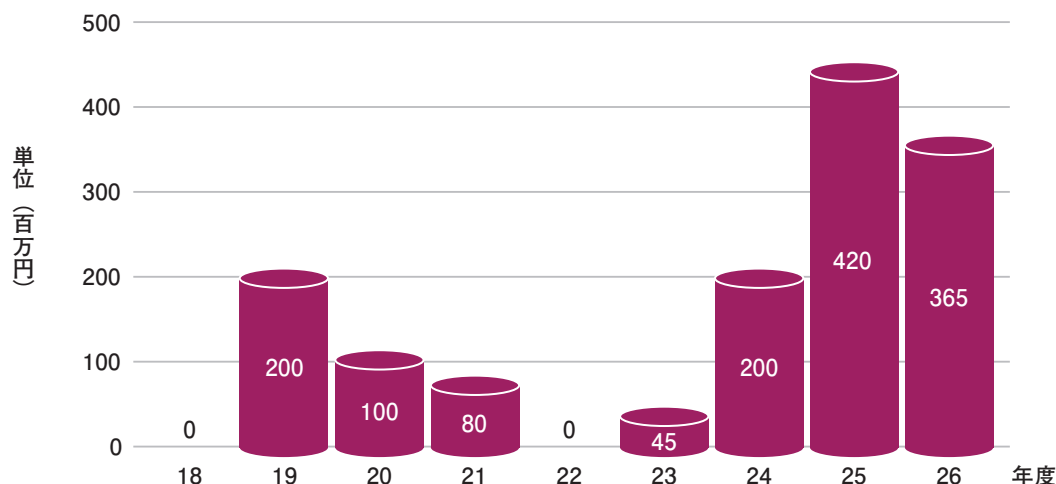
基金の活用

行財政改革で積み立てた「財政調整基金」を過去最大の4億6,500万円取崩して事業を推進

対前年度：27.4%増(6月補正後比較：0.4%増)

【財政調整基金】

● 当初予算時の財政調整基金取り崩し額推移



※26年度6月補正後の基金取り崩し額：463百万円

※18～25年度決算時におきましては、財政調整基金の取り崩しはありません。

※26年度末財政調整基金残高見込み：14億1,000万円

普通建設事業の状況
(一般会計)

平成27年度普通建設事業見込み 17億4,553万円

26年度当初予算比較 : 8億7,843万円増(101.3%)

26年度6月補正後比較: 4億5,719万円増(35.5%)

【平成27年度実施予定の主な普通建設事業】

単位(万円)

事業名	事業費	内 容	担当課
中学校施設整備事業	102,301	加悦中学校改築工事(工事費:100,422 監理委託:1,879) 26・27・28年度の3か年事業	教育総務課
町営住宅維持管理事業	7,164	天神山団地エレベータ新設工事(岩滝)	建設課
道路新設改良事業	6,200	通学路安全対策工事(市場小学校付近、三河内公民館付近など)	建設課
道路維持補修事業	6,000	下堂谷線(堂谷橋)橋りょう長寿命化工事	建設課
河川改修事業	5,500	浸水対策(石川地区鞭谷川バイパス水路)、堂谷樋門更新	建設課
認定こども園施設整備事業	4,921	岩滝認定こども園(仮称)基本・実施設計など	教育推進課
屋外体育施設管理運営事業	3,850	城山公園テニスコート、人工芝改修工事	教育推進課
地球温暖化対策事業	3,320	野田川わーくばるにソーラパネル及び蓄電池設備を設置 (避難施設緊急時電力確保促進事業【府補助事業】)	住民環境課
消防施設整備事業	3,200	消防団用無線装置、無線中継装置更新(デジタル無線機への切替)	総務課



平成27年度当初予算(案)の概要

発行

与謝野町

〒629-2292

京都府与謝郡与謝野町字岩滝 1798 番地 1

TEL: 0772-46-3001

URL: <http://www.town-yosano.jp/>

編集

企画財政課

